

オーディオ / 共通

ワンセグについて☆	G-2	各モードを選択する	G-22
ワンセグの番組受信について☆	G-3	映像の表示について	G-24
マルチサービスについて☆	G-3	SDカードを入れる／取り出す	G-25
ワンセグの画像について☆	G-4	オーディオモードをOFFにする	G-26
テレビのアナログ放送からデジタル放送への 移行についてお知らせ☆	G-4	設定の保持について	G-26
ディスクのMP3 / WMA 音楽再生について	G-5	ページのスクロールについて	G-26
DVDビデオについて☆	G-11	AV SOURCE画面のモードボタン について	G-27
ディスクに表示されているマークについて☆	G-11	パネル部のボタンで選曲する	G-28
VRモードで作成したディスクについて☆	G-12	早戻し / 早送りをする	G-29
ディスクの構成について☆	G-12	リピート / ランダム / スキャン / シャッフル再生	G-30
SDカードの音楽再生について	G-13	音量を調整する	G-33
USB メモリデバイスの音楽再生について	G-16	音質 / 音量バランスの調整をする	G-34
iPodについて	G-18	車速連動音量を設定する	G-36
iPodとは	G-18	時計を表示する	G-38
使用上の注意	G-18	もとの画面に戻す	G-38
対応可能なiPod	G-19	交通情報を受信する	G-39
各部の名称とはたらき	G-20	音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	G-40
パネル部について	G-20		
基本操作	G-22		

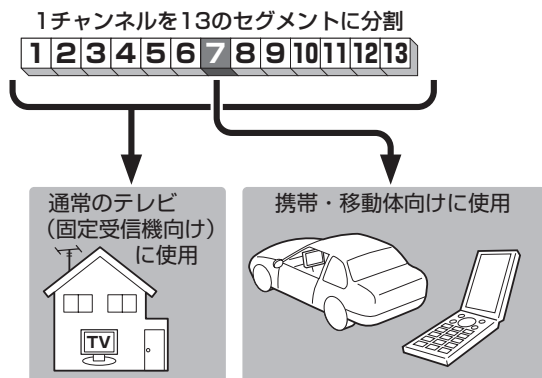
地上デジタルテレビ放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。



地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日に東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が入れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が入る場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例)周りが黒く表示される



(例)上下が黒く表示される



(例)左右が黒く表示される



テレビのアナログ放送からデジタル放送への移行についてお知らせ

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。



※地上デジタルテレビ放送開始エリア内でも、各県庁所在地における先行局のみの開局があり全県下で受信可能とは限りません。車載(車での使用)の場合は周囲の環境の影響を受けやすい為、受信エリア内でも映らない場合があります。

※本機で地上アナログ放送を受信することはできません。

ディスクのMP3 / WMA 音楽再生について(1)

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

●再生可能なMP3 / WMA ファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio * 1
対応サンプリング周波数	☞ G-9 参照	☞ G-10 参照
対応ビットレート * 2		

* 1 印… ● DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

● Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応していません。

* 2 印… ● 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

● VBR(可変ビットレート)に対応しています。

● フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※ 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

●使用できるメディアについて

● MP3 / WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※ CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

● 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※ CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

●ファイル名について

● MP3 / WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3” / WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。

● MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
※ 拡張子名“MP3” / WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル / WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 / WMAファイル以外に、“MP3” / “WMA”の拡張子を付けないでください。MP3 / WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

ディスクのMP3 / WMA 音楽再生について(2)

●ID3タグについて

MP3 ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は全角、半角ともに32文字です。
※対応バージョンはVer 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3となります。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

●MP3 / WMAの再生について

MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。



ドライブ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(飛ばします。)

●MP3 / WMAの演奏時間表示について

MP3 / WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

●使用できるディスクのフォーマットについて

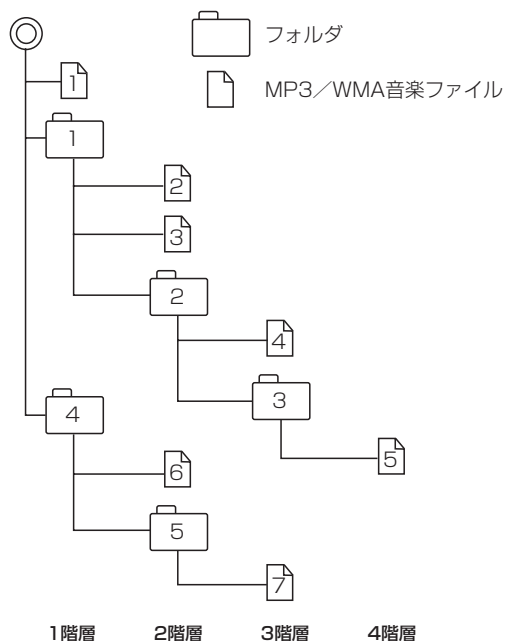
使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3 / WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名 / ファイル名文字数 : 全角、半角ともに32文字
- フォルダ名 / ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1メディア内の最大ファイル数 : 255
- 最大フォルダ数 : 100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト / m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスには対応していません。

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並び替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

●著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディスクのMP3 / WMA 音楽再生について(3)

●MP3 / WMA ファイルの作り方について

MP3 / WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

●インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。

音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

●音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3 / WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3 / WMA形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録 / データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)

本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合があります。)”の項目にチェックを付けしないでください。

●CD-R / CD-RWに書き込む場合

MP3 / WMA ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

●SDカードに書き込む場合

MP3 / WMA ファイルをパソコンに接続されているSDカードスロットを介してSDカードに書き込みます。



アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3 / WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3 / WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3 / WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※ VBR：可変ビットレート

ディスクのMP3 / WMA 音楽再生について(4)

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※ VBR : 可変ビットレート

● 表示可能なID3 / WMA タグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※ MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

● フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3 / WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで保存されたMP3 / WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional / WMA9 Losslessには対応していません。



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

(例)



オーディオ
共通

DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバース

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていませんがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の2つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

マーク (例)	意味
	音声のトラック数をあらわします。
	字幕の数をあらわします。
	アングル数をあらわします。
	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) をあらわします。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクのMP3 / WMA音楽再生について / DVDビデオについて

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。

VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

DVD再生ディスク対応一覧表

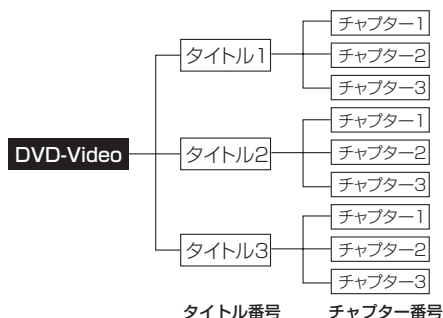
メディアの種類 (記録方式) 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

—…記録できないディスク

×…再生できないディスク

*印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

ディスクの構成について



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3/WMA/AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

●SDロゴは商標です。 

●SDHCロゴは商標です。 

●MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

●AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては  G-5をご覧ください。

●SDカードについて

●32GBまでの容量のSDカードに対応しています。


●SDXCカードには対応していません。

●USB接続のカードリーダーに対応していません。

※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

●SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。

●SDカードの初期化は本機で行なってください。

 「データを初期化(消去)する」F-49

●SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。

※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。

●miniSDカード/microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”/“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

●miniSDカード/microSDカードをminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターでご使用の際は、正常に動作しない場合があります。

●microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

●本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

●長時間使用しないときは本機から取り出してください。

●ゴミやほこり、そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

●端子部には手や金属などで触れないでください。

●強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

●分解したり、改造したりしないでください。

●水にぬらさないでください。

●以下のような場所での使用や保存はしないでください。

・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)

・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

SDカードの音楽再生について(2)

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3/WMAにつきましては[図] G-9をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数 16～48kHz、対応ビットレート 16～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

●操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機 能		SDカード (2GB以下)	SDHCカード (4GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

※本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

●MP3/WMA/AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層 / 1メディア内の最大ファイル数3000 / 1フォルダ内の最大ファイル数：255 / 最大フォルダ数：400となります。
- 再生の順序は、同一のSDカードでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 選曲モード([図] L-4)のフォルダやトラックリストに表示される順番は[図]「階層と再生順序のイメージ」G-7にしたがいます。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に「01～99」など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA/AACは再生できません。

●ファイル名について

- MP3/WMA/AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名/トラック名/アルバム名です。

(トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。)

※WMA/AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

USBメモリデバイスの音楽再生について

USBメモリデバイスを使用して本機で再生することができます。


- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。
- AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。
※MP3／WMAの説明につきましては「[P. G-5](#)」をご覧ください。

●USBメモリデバイスについて

- 32GBまでの容量のUSBメモリデバイスに対応しています。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードに接続してください。
※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodの再生をすることもできます。「[P. 「iPodを本機に接続する」](#)」N-4
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- マストレージクラスのUSBメモリデバイスに対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- ウォークマン(USB音楽プレーヤー)には対応していません。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。

- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのネットワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層 / 1メディア内の最大ファイル数：3000 / 1フォルダ内の最大ファイル数：255 / 最大フォルダ数：400となります。
- 選曲モードのリストに表示される順番は、「階層と再生順序のイメージ」G-7にしたがいます。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA / AACファイルは再生できません。

●ファイル名について


- MP3 / WMA / AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3” / WMAの拡張子“wma” / AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※ 拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
- ※ 異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※ 本機が対応しているID3タグはトラック名 / アーティスト名 / アルバム名です。
- ※ WMA / AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3 / WMAにつきましては G-9をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

- ※ 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3 / WMA / AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ※ 64kbps以下のビットレートで作成されたMP3 / WMA / AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

iPodについて

iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、本機でiPodの曲を再生することができます。



"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPad is a trademark of Apple Inc.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

- 「iPod」、 「iPhone」、 「iPod classic」、 「iPod nano」、 「iPod shuffle」、 「iPod touch」は、Apple Inc.の登録商標です。
- 「iPad」は、Apple Inc.の商標です。



アドハイス

*印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPodはiPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードで再生させます。

☞ N-4

対応可能な iPod

2010年2月現在

モデル名	ソフトウェアバージョン	USB接続 音楽再生
iPhone 3GS	3.0	○
iPhone	2.0	○
iPod touch 第3世代	3.1.1	○
iPod touch 第2世代	2.1.1	○
iPod touch 第1世代	2.0	○
iPod classic	1.0.3	○
iPod Video (iPod 第5世代)	1.2.3	○
iPod nano 第5世代	1.0.1	○
iPod nano 第4世代	1.0	○
iPod nano 第3世代	1.0.3	○
iPod nano 第2世代	1.1.3	○
iPod nano 第1世代	1.3.1	○
iPod photo	1.0	×
iPod mini	1.2	×
iPod 第4世代 (クイックホイール)	3.0.2	×

○：対応可能 ×：対応不可

最新の適応情報は下記 URL をご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

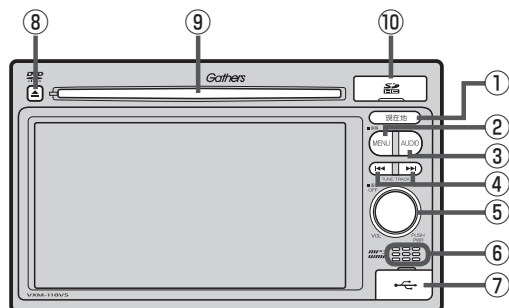


アドバース

- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- 第1、第2、第3世代のiPodには対応していません。
- iPadには対応していません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 映像データには対応していません。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

パネル部について



① 現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

☞ B-7、G-40

② MENU ボタン

- FM / AM / ワンセグ[☆] / CD / MP3 / WMA / SD / VTR / USB / iPodモード時にボタンを押すと、ナビゲーションモードのトップMENU画面を表示します。

- DVD[☆]モード時にボタンを押すと、操作ボタン1を表示します。

☞ K-2

- 長押しすると画質調整画面を表示します。

☞ P-2

③ AUDIO ボタン

AV SOURCE画面を表示します。

☞ G-23

④ ◀▶ ボタン

- 好きな曲 / ファイル / チャプター / 放送局を選びます。

- ・ CD / MP3 / WMA / SD / USB / iPod

☞ G-28

- ・ FM / AM ☞ H-6

- ・ ワンセグ[☆] ☞ I-14

- ・ DVD[☆] ☞ K-7

- 長押しすると早戻し / 早送り / 自動選局を行いません。

- ・ CD / MP3 / WMA / DVD[☆] / SD / USB / iPod

☞ G-29

- ・ FM / AM ☞ H-6

- ・ ワンセグ[☆] ☞ I-14

- 一時停止中にコマ戻し / コマ送りを行いません。

- ・ DVD[☆] ☞ K-8

- 一時停止中に長押しすると、スロー戻し / スロー送りを行いません。

- ・ DVD[☆] ☞ K-9

⑤ ○ ボタン (VOL / PUSH PWR)

- ボタンを押すたびに、オーディオモードをON / OFFします。

☞ G-26

- 右方向または左方向に回転し、オーディオの音量を調整します。

☞ G-33

- 2秒以上長押しで画面を消します。

☞ P-6

⑥ 内蔵マイク☆

ハンズフリー機能を使用して、電話を発信または着信後に内蔵マイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

☞ 0-2

⑦ USB接続口

カバーを開けると接続口があらわれます。USB / iPodモードを使用する場合、別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPodに付属のUSBケーブルを接続します。

☞ N-4

⑧ ▲ボタン(DVD☆ / CDイジェクト)

ディスクを取り出すときに使用します。

☞ B-3、G-24

⑨ ディスク挿入口

☞ B-3

⑩ SDカード挿入口

SDモードを使用する場合、カバーを開けてSDカードを差し込みます。

☞ B-4



タッチパネル

画面に表示されるタッチパネル部のボタンにつきましてはそれぞれを参照してください。

・FM / AM ☞ H-2

・ワンセグ☆ ☞ I-3

・CD / MP3 / WMA ☞ J-2

・DVD☆ ☞ K-2

・SD ☞ L-2

・VTR / AUX ☞ M-2

・USB ☞ N-2

☆印…VXM-118VSの場合

基本操作(1)



- パネル部の詳細につきましては「**各**」各部の名称とはたらき」G-20をご覧ください。
- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とは、FM/AM/ワンセグ[☆]/CD/MP3/WMA/DVD[☆]/SD/VTR^{*1}/AUX^{*1}/USB^{*2}モード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

*1 印…本機に別売のVTRコードまたは別売のAUX接続コードを接続している場合に選択できます。

*2 印…iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodの音楽データを再生させることができます。

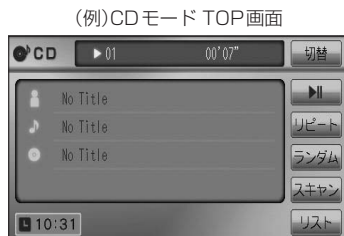
☆印…VXM-118VSの場合

各モードを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、G-23手順**2**へ進んでください。

1 車のエンジン スイッチを I (ACC) または II (ON) に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。



注意

車のエンジンスイッチを I (ACC) (エンジンを停止したまま) のままで長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2

AUDIO を押す。

：AV SOURCE画面または最後のオーディオモード画面が表示されます。最後のオーディオモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度**AUDIO**を押してAV SOURCE画面を表示させてください。

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は、挿入または接続してください。

☞ B-3、B-4、M-3、N-4

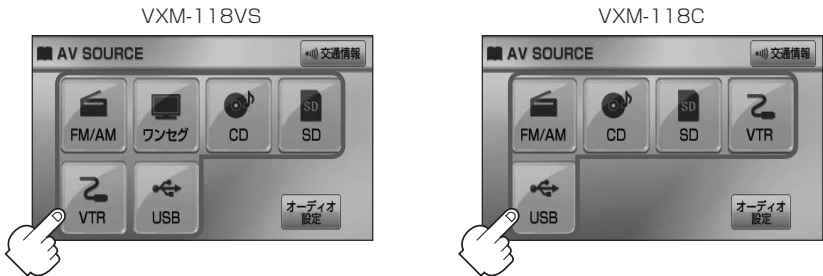
3

操作したいモード(**FM/AM**／**ワンセグ**☆／**CD**／**DVD**☆／**SD**／**VTR**／**USB**)をタッチする。

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面(下記)に表示されるモードボタン(各機能)は型式によって異なります。また、各ボタンの詳細につきましては☞ G-27を参照してください。

AV SOURCE画面



■ 操作したいモード画面が表示された場合

① ☞ それぞれの項目をご覧ください、ご希望の操作を行なってください。

- ・ FM/AM ☞ H-1
- ・ ワンセグ☆ ☞ I-1
- ・ CD/MP3/WMA ☞ J-1
- ・ DVD☆ ☞ K-1
- ・ SD ☞ L-1
- ・ VTR/AUX ☞ M-1
- ・ USB ☞ N-1

※音楽再生をしていた場合は前回のつづきから再生を始めます。

☆印…VXM-118VSの場合

基本操作(2)

映像の表示について



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するモードはDVD[☆]／ワンセグ[☆]／VTRとなります。

(例)DVD[☆]モード画面(走行中)



1 ディスクを入れる／取り出す。

■ ディスクを入れる場合

① ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動で再生を始めます。


■ ディスクを取り出す場合

① (DVD[☆]／CDイジェクト)を押す。

：ディスクがディスク挿入口より出てきます。



アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(つづきから再生)を行ないます。[☆]
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にI (ACC)またはII (ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
-  (DVD[☆]／CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。

☆印…VXM-118VSの場合

SDカードを入れる／取り出す**1** SDカードカバーを開ける。 B-4

：SDカード挿入口があらわれます。

2 SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

※SDモードを選択している場合は再生を始めます。

② SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

② SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。



アドバイス

●SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。

●再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)して取り出してください。

基本操作(3)

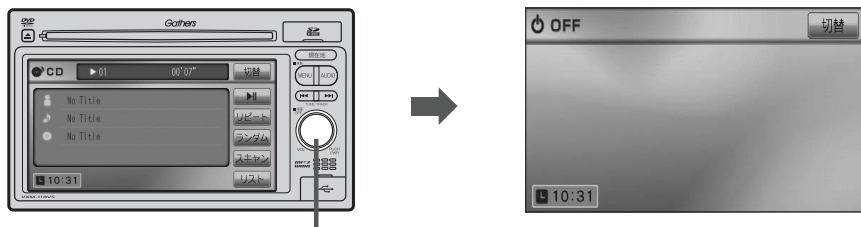
オーディオモードをOFFにする

1 ○ (VOL / PUSH PWR)を押す。

: 画面に“OFF”と表示され、オーディオの各モードを終了します。
もう一度押すと、オーディオモードをONします。

※前回、音楽またはDVD*を再生していた場合はつづきから再生を始めます。

(例)CDモード TOP画面



○ボタン(VOL / PUSH PWR)

☆印…VXM-118VSの場合

設定の保持について

決定のある画面では、**決定**をタッチすると設定が保持されます。

決定をタッチしないで**戻る**をタッチまたは **MENU** / **現在地**を押すと設定は保持されません。

※ **決定**のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。

ページのスクロールについて

次ページがある場合、**▲** / **▼** タッチでページのスクロール(戻し/送り)表示することができます。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

AV SOURCE画面

VXM-118VS



VXM-118C



選択可能モードはモードをあらわす文字が黒色表示

選択不可能モードはモードをあらわす文字が灰色表示



● CD / DVD[☆]表示について

CD / DVD[☆]モードボタンまたは **CD**[★]モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

	CD / DVD [☆] 未挿入時 ^{*1}	ディスク再生中に ディスクを抜いた とき ^{*2}	CD / MP3 / WMAディスクを 挿入し再生時	DVD [☆] ディスク を挿入し再生時
VXM-118VS				
VXM-118C				—



アドバンス

* 1印…* 2のとき、一度他のモードにすると選択不可(* 1の状態)となります。

● **CD/DVD**[☆]は挿入したディスクによって **CD**、**DVD**[☆]と表示が変わります。

● SDモード / USBモードを使用するにはSDカードを本機に挿入 / 別売のUSBメモリーデバイスコードを本機に接続し、USBメモリーデバイスを接続しておく必要があります。[音] B-4、N-4

※ SDカード未挿入 / USBメモリーデバイス未接続の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

● iPodを再生するにはiPod本体に付属されているUSBケーブルに本機とiPodを接続しておく必要があります。[音] N-4

☆印…VXM-118VSの場合

★印…VXM-118Cの場合

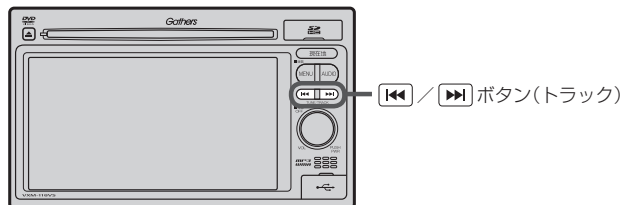
パネル部のボタンで選曲する

操作パネル上のボタンを押して1曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1

◀◀ / ▶▶ (トラック*¹)を押す。

: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



■ 前のトラックに戻る場合

◀◀ を2回押す。

* 1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。*²

■ 次のトラックに進む場合

▶▶ を押す。



アドハイス

● 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

- ・ CD / MP3 / WMA [音] J-4
- ・ SD [音] L-4
- ・ USB [音] N-6
- ・ iPod [音] N-10

* 1印…FM / AM / ワンセグ*モードでは選局、DVD*モードではスキップと呼び名を変えています。

- ・ FM / AM [音] H-6
- ・ ワンセグ* [音] I-14
- ・ DVD* [音] K-7 ~ K-9

* 2印…CD / MP3 / WMAモードのとき、トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

☆印…VXM-118VSの場合

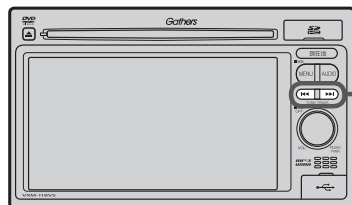
早戻し／早送りをする

1

⏮／⏭ (トラック／スキップ) を押し続ける。

：早戻し／早送りをします。

※DVD☆モードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。



⏮／⏭ ボタン
(トラック／スキップ)

■ 早戻しで戻る場合

⏮ を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ を押し続ける。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し

(例)音楽再生の場合



アドバース

- それぞれのボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。
- FM／AM／ワンセグ☆モードのときに押し続けると自動選局を開始します。
 - ・FM／AM H-6
 - ・ワンセグ☆ I-14

☆印…VXM-118VSの場合

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(1)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 再生したいモード(**リピート**／**ランダム**／**スキャン**／**シャッフル**)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** をタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート再生されます。

※ **リピート** をタッチすることにより、下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき
🔄マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** をタッチする。

：ボタンが点灯し、ランダム再生されます。

※ **ランダム** をタッチすることにより、下記のように用途が変わります。

CDの場合

ディスク内の曲をランダム再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき
🎲マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

MP3／WMAの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき
🎲マーク表示有)


通常再生(ランダム解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

SD / USB の場合

今聞いているリストの中からランダム再生

(ボタン点灯 / TOP画面のとき)

 マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(ボタン消灯 / マーク表示無)



ランダム再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

: ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(例)スキャン再生画面




スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

CD / MP3 / WMA の場合

ディスク内の曲をスキャン再生

(ボタン点灯 / TOP画面のとき)

 マーク表示有)


通常再生(スキャン解除)

(ボタン消灯 / マーク表示無)

SD / USB の場合

今聞いているリストの中からスキャン再生

(ボタン点灯 / TOP画面のとき)

 マーク表示有)

通常再生(スキャン解除)

(ボタン消灯 / マーク表示無)



スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(2)

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※USBモード(iPod再生のみ)

① **シャッフル** をタッチする。

(例)シャッフル再生画面



選択中の再生状態を表示

選択時ボタン点灯

：ボタンが点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき

 マーク表示有)



今聞いているリストをアルバムごとシャッフル再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき

 マーク表示有)




通常再生(シャッフル解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)



シャッフル再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。



- マーク表示中はそれぞれの再生モードを繰り返します。
- SDモードまたはUSBモードの選曲モード( L-5、N-7、N-11)で“フォルダリスト”を選択している場合は、選択しているフォルダリストのランダム再生またはスキャン再生となります。

音量を調整する

- 1** ○(VOL/PUSH PWR)を右方向/
左方向へ回す。

右方向：音量が大きくなります。

左方向：音量が小さくなります。

(例)CDモード TOP画面



○ ボタン(VOL/PUSH PWR)

音量を調整すると画面に現在の音の大きさ
(0～40)を示すVOLUME表示されます。
VOLUME表示は約3秒間表示されます。



アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量は画面をタッチして調整します。

〔音〕「音声案内の音量を調整する」F-33

- DVD☆モードまたはVTRモードの場合、音量は個別に保持します。

※CDモードで音量を“10”に設定した場合、FM/AM/ワンセグ☆/MP3/WMA/SD/USBモードの音量も“10”となります。

☆印…VXM-118VSの場合

オーディオ
共通

〔リピート/ランダム/スキップ/シャッフル再生〕/〔音量を調整する〕

音質／音量バランスの調整をする

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

- BASS^{バス}：低音域の調整
- TREBLE^{トレブル}：高音域の調整
- BALANCE^{バランス}：左または右スピーカーの音量調整
- FADE^{フェード}：前または後ろスピーカー音量調整

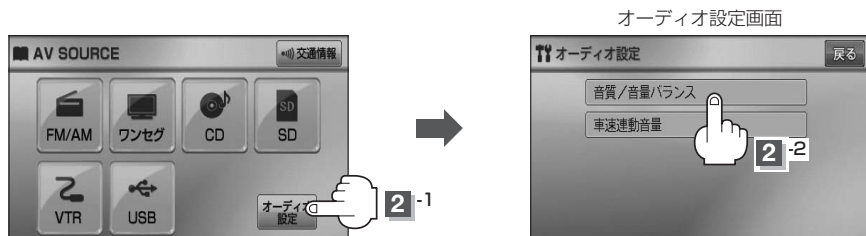
※オーディオモードOFFの場合、音質／音量バランスの調整をすることはできません。

1 各モード画面で **AUDIO** を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

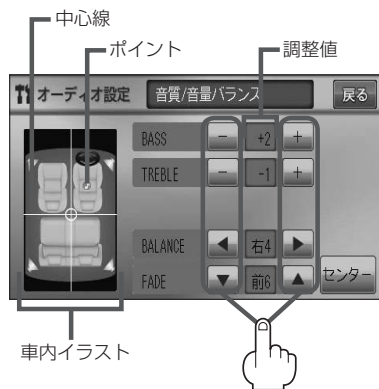
2 オーディオ設定 → 音質／音量バランス をタッチする。

：音質／音量バランス設定画面が表示されます。



3 調整したい項目(BASS^{バス}／TREBLE^{トレブル}／BALANCE^{バランス}／FADE^{フェード})の **-**／**+** または **◀**／**▶** または **▼**／**▲** をタッチする。

※BALANCEとFADEの場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。



■ BASS(-5～+5)調整の場合

- をタッチすると低音が弱まり、**+** をタッチすると低音が強まる。

■ TREBLE(-5～+5)調整の場合

- をタッチすると高音が弱まり、**+** をタッチすると高音が強まる。

■ BALANCE(左9～右9)調整の場合

- ◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
- ▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ FADE(前9～後9)調整の場合

- ▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
- ▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- **センター** をタッチすると“BALANCE”または“FADE”の値が“0”になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。



ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に **-** / **+** / **◀** / **▶** / **▼** / **▲** をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置をあらわすイメージ図です。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

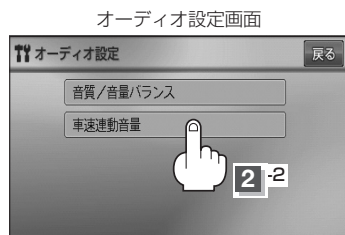
※オーディオモードOFFの場合、車速連動音量の設定をすることはできません。

1 各モード画面で **AUDIO** を押す。

： AV SOURCE 画面が表示されます。

2 **オーディオ設定** → **車速連動音量** をタッチする。

： 車速連動音量画面が表示されます。



3 設定したい音量ボタン(**LOW** / **MIDDLE**

／ **HIGH**) をタッチする。

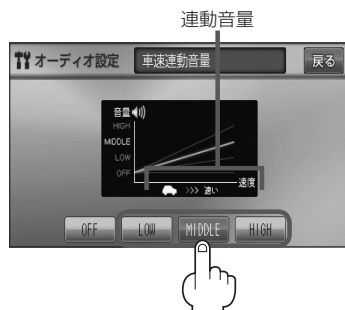
： 車速(走行速度)に応じて音量変化は

- LOW…小さい
- MIDDLE…HIGHとLOWの間
- HIGH…大きい

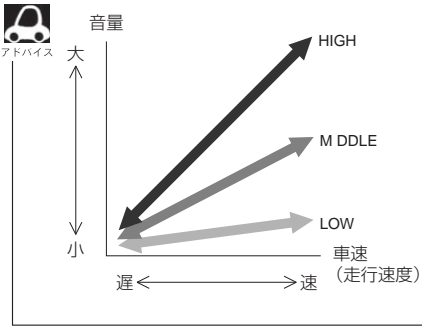
となります。

■ 車速連動音量を設定しない場合

① **OFF** をタッチする。



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さく)します。
※ 高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

時計を表示する

FM / AM / CD / MP3 / WMA / SD / USB / iPodを再生中、画面全体に時計を表示することができます。

1 各モードのTOP画面で**切替**をタッチする。

：画面全体に時計を表示します。

※もう一度**切替**をタッチすると、もとの画面に戻ります。

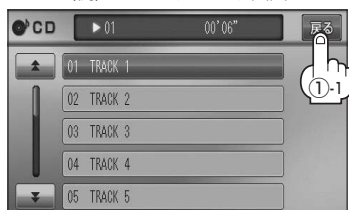
(例)CDモード TOP画面



■ リスト画面が表示されている場合

① 戻る → **切替** をタッチする。

(例)CDモード リスト画面



もとの画面に戻す

1 **切替** をタッチする。

：もとの画面に戻ります。

(例)時計表示画面



ワンセグ*モード / DVD*モード / VTRモード / AUXモード時は、時計を表示させることはできません。

☆印…VXM-118VSの場合

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

オーディオ
共通

〔時計を表示する〕／〔交通情報を受信する〕

1 各モード画面で **AUDIO** を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

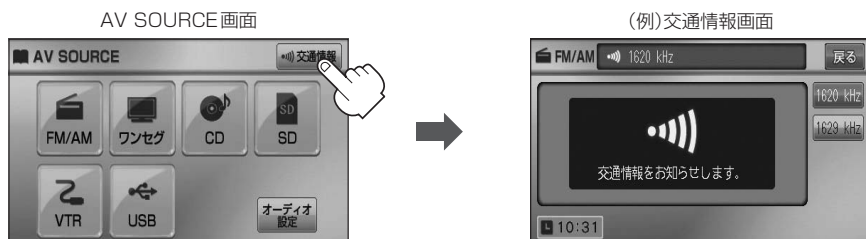


ラジオモード(FM/AM)から操作する場合は、**H-12**をご覧ください。

2 **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。



■ 周波数の設定を変える場合

- ① 受信したい周波数(**1620kHz** / **1629kHz**)
をタッチする。

：設定した周波数で道路交通情報を受信します。



3 交通情報の受信を止めるには、**戻る** をタッチする。

：選択していたモード画面に戻ります。



次回、**交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モード画面で、**現在地**を押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

(例)CDモード TOP画面



■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① **AUDIO**を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。

再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、**現在地**を押してください。

(例)CDモード TOP画面



アドハイス

オーディオモードの音量調整( G-33)や /  ( G-28、G-29)を使っの操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

H

FM / AM(ラジオ)

ラジオ

各部の名称とはたらき	H-2
タッチパネル部について	H-2
表示部について	H-4
FM / AM放送を切り替える	H-5
FM / AMを使う	H-6
選局する	H-6
プリセットボタンにメモリーする	H-10
交通情報を受信する	H-12
周波数の設定を変える	H-13

各部の名称とはたらき(1)

タッチパネル部について

(例)FMモード TOP画面



(例) FMモード リスト画面

(プリセット1 / プリセット2 ボタン選択時)



(例) FMモード リスト画面

(エリア ボタン選択時)



- ① **リスト** ボタン
現在の車の位置周辺で放送されている放送局をリスト表示します。
[音] H-6
- ② **バンド** ボタン
タッチするたびにAMモード↔FMモードと切り替わります。[音] H-5
- ③ **交通情報** ボタン
道路交通情報を受信します。
[音] H-12
- ④ **切替** ボタン
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** をタッチすると選択中のモード画面に戻ります。
[音] G-38
- ⑤ **プリセット** ボタン(1～6)
1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
[音] H-10(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
[音] H-7
- ⑥ **A.SEL** ボタン
1.5秒以上タッチでオートセレクトを開始します。(表示灯点灯)
[音] H-11
※セレクトされた放送局は **プリセット** (1～12)に表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザープリセット画面の切り替えとなります。
[音] H-8
- ⑦ **プリセット1** / **プリセット2** ボタン*
ユーザープリセット1(プリセット1)/ユーザープリセット2(プリセット2)を表示します。
[音] H-7
- ⑧ **エリア** ボタン*
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** (1～12)に表示します。
[音] H-6
- ⑨ **エリア表示** ボタン(1～12)
エリア選局画面でエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。
[音] H-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
- ⑩ **エリア更新** ボタン(1～12)
エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。
[音] H-7、アドバース内

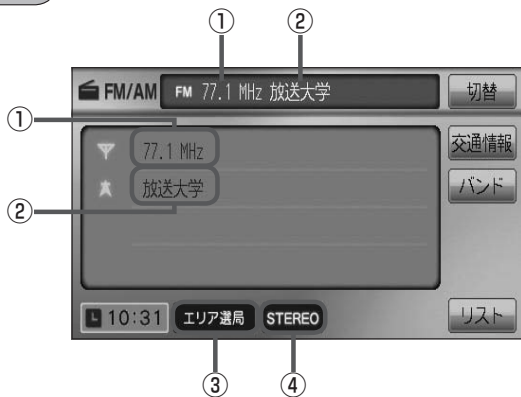


アドバース

*印…オートセレクト画面(**A.SEL** の表示灯点灯)のとき、 **エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** は表示されません。

各部の名称とはたらき(2)

表示部について



① 周波数

② 放送局

※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

③ エリア表示／プリセット表示／オートセレクト表示

※リストから選択したボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって表示は異なります。

エリア選局	：	エリア	選択時に表示
プリセット1	：	プリセット1	選択時に表示
プリセット2	：	プリセット2	選択時に表示
オートセレクト	：	A.SEL	選択時に表示

④ ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

FM / AM 放送を切り替える

1

バンド をタッチする。

：タッチするたびにAMモード ↔ FMモードと切り替わります。

(例)FMモード TOP画面



FMモード選択時表示

(例)AMモード TOP画面



AMモード選択時表示

ラジオ

〔各部の名称とはたらき〕／FM / AM 放送を切り替える

FM / AMを使う(1)

選局する

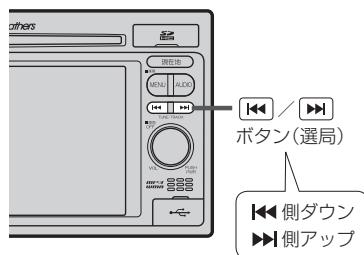
手動選局／自動選局／エリア選局／ユーザープリセット選局／オートセレクト選局があります。

1 選局する。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合



- ①  /  (選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

- ①  /  (選局)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に  /  (選局)を押すと、自動選局は止まります。



- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

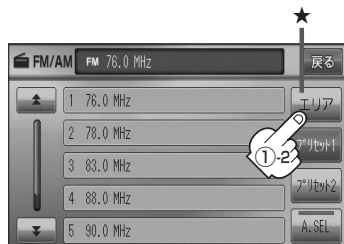
■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

- ① **リスト** → **エリア** をタッチする。

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12)に表示されます。

★印… **エリア** が **エリア更新** に切り替わります。 **プリセット1** / **プリセット2** をタッチすると、**エリア**に戻ります。



② **エリア表示** (1～12)の

中で聞きたい放送局を
タッチする。

：選択したラジオ放送を受信
します。

エリア表示 ボタン
(1～12)



- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数異なりますので、全ての**エリア表示**に表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に**エリア更新**をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** / **プリセット2**、**A.SEL**)によって異なります。[H-9 アドバイス参照]

■ **ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合**

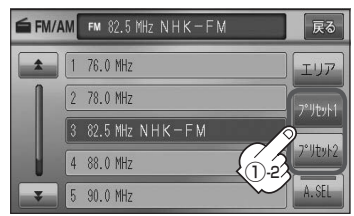
プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ**プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

[H-9 「プリセットボタンにメモリーする」] H-10

① **リスト** → **プリセット** ボタン (**プリセット1** / **プリセット2**) をタッチする。

：選択中モード(FM / AM)の**プリセット**表示となります。



② 呼び出したい**プリセット** (1～6)を
タッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

(例)FMモード リスト画面
ユーザープリセット表示



オートセレクト画面を表示している場合は **A.SEL** をタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画面に切り替えて手順①を行なってください。

[H-8 「 オートセレクト画面のときユーザープリセット / エリア画面に戻すとき」]

H-8




プリセット ボタン(1～6)

FM / AMを使う(2)

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動で12局までメモリー)した放送局を **プリセット** (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

【 ■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合】H-11

① **リスト** → **A.SEL** をタッチする。

：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** に表示します。

(例)FMモードTOP画面



(例)FMモードリスト画面*
ユーザープリセット表示



② **プリセット** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送局を受信します。

プリセット ボタン(1～12)
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。



□ オートセレクト画面のときユーザープリセット/エリア画面に戻るとき

1. **A.SEL** をタッチする。

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト/エリア画面 ↔ ユーザープリセットと切り替わります。

(例)オートセレクト画面



表示灯



*印…リスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって異なります。【 H-9アドバイス参照

● **A.SEL** を1.5秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。

【 H-11

● 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。

● 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。



FM/AMモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)
アドバイス によって異なり、画面が下記のように変わります。

(例)FMモード リスト画面

エリア 選択時
 (エリア表示)



プリセット1 / **プリセット2**
 をタッチすると

(例)FMモード リスト画面

プリセット1 / **プリセット2** 選択時
 (ユーザープリセット表示)



エリア を
 タッチすると

A.SEL をタッチ
 して表示灯を点灯
 すると

A.SEL をタッチ
 して表示灯を点灯
 すると

(例)FMモード リスト画面

A.SEL 選択時
 (オートセレクト表示)



A.SEL をタッチ
 して表示灯を消灯
 すると

A.SEL をタッチ
 して表示灯を消灯
 すると

ラジオ

(FM/AMを使う)

FM / AMを使う(3)

プリセットボタンにメモリーする

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

1 バンドを選ぶ。

☞ 「FM / AM放送を切り替える」H-5

2 リスト →メモリーしたいプリセットボタン(プリセット1 / プリセット2)をタッチする。

※オートセレクトプリセット(自動メモリー)を行なう場合は、**リスト** をタッチ後
☞ 「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」H-11へ進んでください。

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

(例)FMモード TOP画面



(例)FMモード リスト画面



3 プリセットする方法を選択する。 (ユーザープリセット / オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

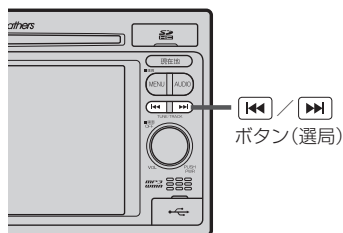
メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1~6)にメモリーします。

※ **プリセット** には、FM・AMの各モードでプリセット1 / プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

① ◀▶ (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合」 /

☞ 「■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」H-6



- ② **プリセット** (1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1～6)



アドバース

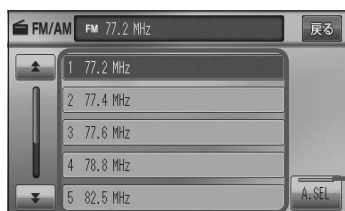
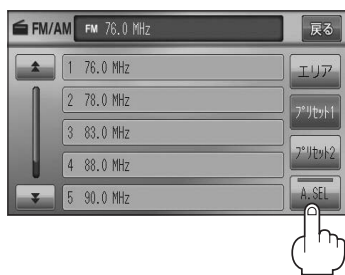
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**プリセット1** または **プリセット2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
【音】「■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合」H-7

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で12局まで **プリセット** にメモリーします。

- ① **A.SEL** を1.5秒以上タッチする。

： **A.SEL** の表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。



プリセット ボタン(1～12)

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



アドバース

- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** (1～12)を軽く(1秒未満)タッチします。
【音】「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」H-8
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1

交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

(例)FMモード TOP画面



(例)交通情報画面



■ エリア／プリセット1／プリセット2／A.SEL画面を表示している場合

① **戻る** → **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

FMモード リスト画面

(エリア表示)



2

交通情報の受信を止めるには、

戻る をタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。



道路交通情報は、AV SOURCE画面からでも表示できます。

アドバイス

「交通情報を受信する」G-39

周波数の設定を変える

交通情報の周波数を変えることができます。

1 受信したい周波数(**1620kHz** / **1629kHz**)を
タッチする。

：選択した周波数で道路交通情報を受信します。



ナビデバイス

次回、**交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

ラジオ

〔交通情報を受信する〕

